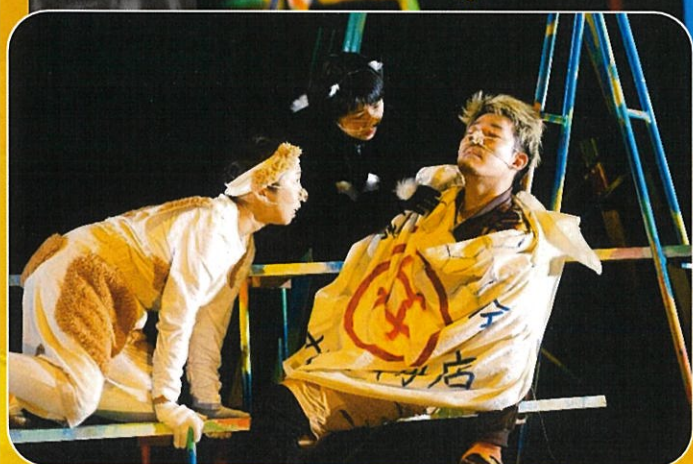


知らない世界に迷い込んだ、小さな黒ねこルドルフの冒険と友情の物語！

オペラシアターこんにゃく座

ルドルフと イッパイアッテナ



原作：斉藤 洋 〈講談社刊「ルドルフとイッパイアッテナ」による〉

台本：いずみ凜 作曲：信長貴富 演出：立山ひろみ

長浜文化芸術会館 大ホール

2025年6月29日(日) 14:00 開演(13:30 開場)

入場料 一般 2,000 円 18歳以下 1,500 円

※3歳以下無料(座席が必要な場合有料)

(税込・全席指定)

【発売日】

3月8日(土)

10:00

●プレイガイド●

長浜文化芸術会館 0749-63-7400

浅井文化ホール 0749-74-4000

木之本スティックホール 0749-82-2411

ローソンチケット(Lコード:53676)

楽天チケット

teket(電子チケット)



楽天チケット



teket

いつの時代もたくさんの人々に愛されてきた
児童文学の名作「ルドルフとイッパイアッテナ」
歌役者4人とピアノの生演奏によるオペラ作品
をお楽しみください

●お問合せ●

長浜文化芸術会館 0749-63-7400

<https://nagahama-bunspo-hall.com>

オペラシアターこんにゃく座は、[新しい日本のオペラの創造と普及]を目的に掲げ、1971年に創立されました。母体となったのは、東京芸術大学内で1965年から12年間にわたって活動が続いた学生たちのサークル「こんにゃく体操クラブ」です。このクラブでは、故宮川睦子氏（元東京芸術大学名誉教授）指導のもとに、身体訓練と演技の基礎訓練が行われました。この「こんにゃく体操クラブ」出身者たちにより、自国語のオペラ作品をレパートリーとし、恒常的にオペラを上演する専門のオペラ劇団としてオペラシアターこんにゃく座は設立され、巡回公演を開始しました。

こんにゃく座はまた、オペラの演劇性を重視し、こんにゃく体操で培われた身体性を駆使し、演出面にも斬新な発想を提示し続けています。そして大掛かりなグランド・オペラの方角はとらず、ピアノのみ、あるいは小編成のアンサンブルの演奏と少人数の出演者による作品を創作し、数多くの上演を重ねています。

作曲家・林光（1931-2012）は1975年より音楽監督、座付作曲家を、1997年より芸術監督を務めました。現在、萩京子を代表・音楽監督とし、約40名の歌手を擁し、年間およそ250公演の上演活動を続けています。

こども家庭庁こども家庭審議会推薦児童福祉文化財に認定（旧厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財）

1999年オペラ『森は生きている』、2008年オペラ『ゼロ弾きのゴーシュ』（特別推薦）、2009年オペラ『ピノッキオ』（特別推薦）

2010年うたものがたり『よだかの星』、2011年オペラ『ねこのくにのおきゃくさま』、2015年オペラ『銀のロバ』（特別推薦）

2016年オペラ『口はロボットの口』（特別推薦）、2022年『こんにゃくざのおんがくかい』、2023年オペラ『ルドルフとイッパイアッテナ』

「ルドルフとイッパイアッテナ」ものがたり

ある日、黒ねこのルドルフは、魚屋さんに追いかけて思わず飛び乗ったトラックで見知らぬ土地へと運ばれてしまった。そこで出会った大きなトラねこ“イッパイアッテナ”に、野良で生きていくためのいろいろなことを教えてもらう。金物屋の飼いねこブッチーと宿敵・飼い犬のデビルを巻き込み進む物語の最後に、ルドルフは、大きな決断をする！

〈キャスト〉

ルドルフ：小林ゆず子、イッパイアッテナ：北野雄一郎

デビル：鈴木あかね、ブッチー：西田玲子、ピアノ：五味貴秋

長浜文化芸術会館

〒526-0066 滋賀県長浜市大島町 37 番地

☎ 0749-63-7400

<https://nagahama-bunspo-hall.com>

※長浜文化芸術会館には専用駐車場がありません。豊公園駐車場（3時間まで無料）をご利用ください。大ホールをご利用の方は、時間にかかわらず無料で利用できます。（駐車券を会館までお持ちください）

